

平成28年度6月補正予算

---

# 予算編成方針 説明会



---

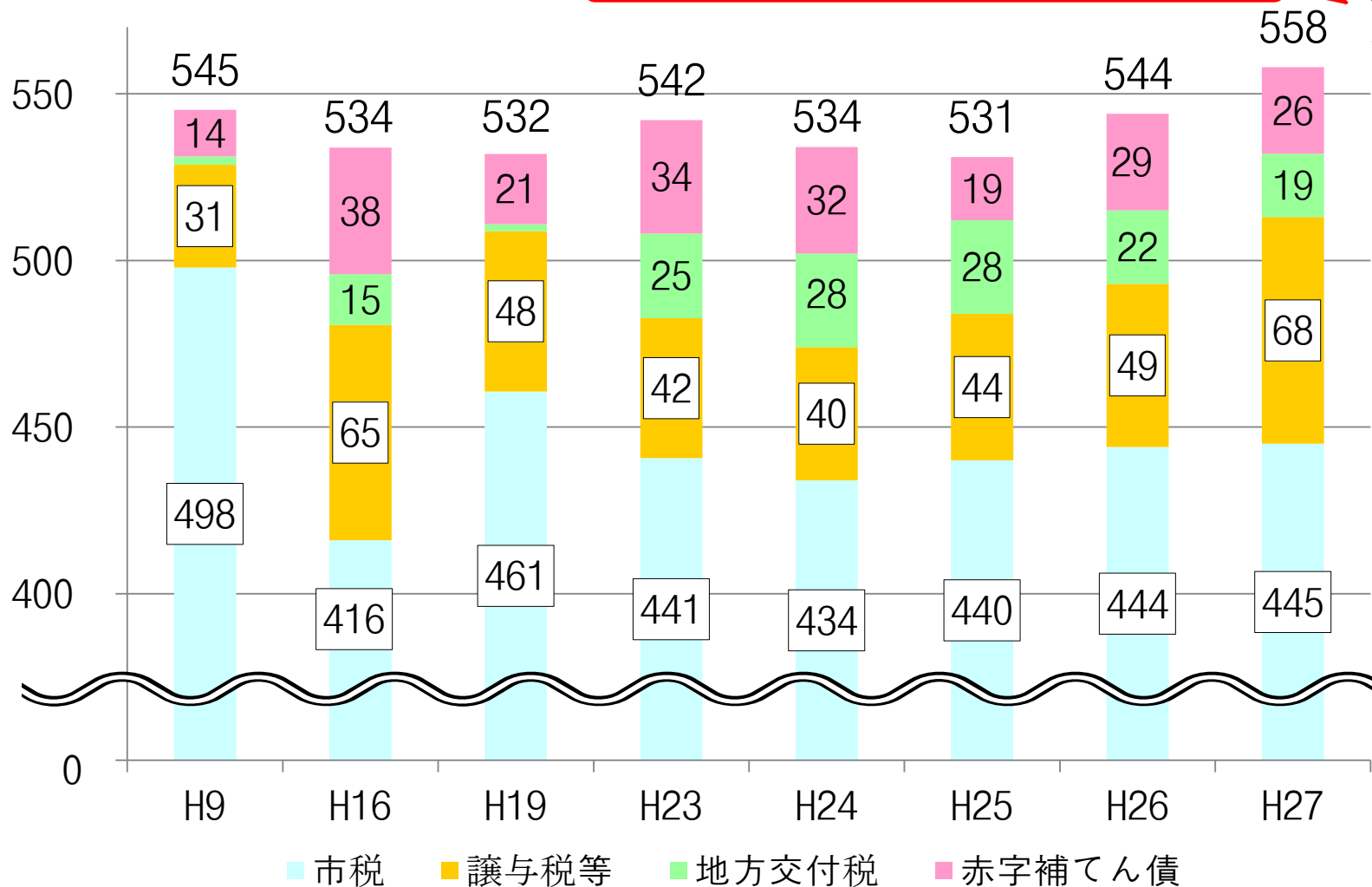
# 1 茨木市の財政状況

決して多くはない財源の中、懸命に健全化への取組に努めているが、財政指標は悪化傾向・・・

# 税等一般財源の推移(一般会計ベース決算)

(単位：億円)

市税収入は430～440億円台で推移してるね！

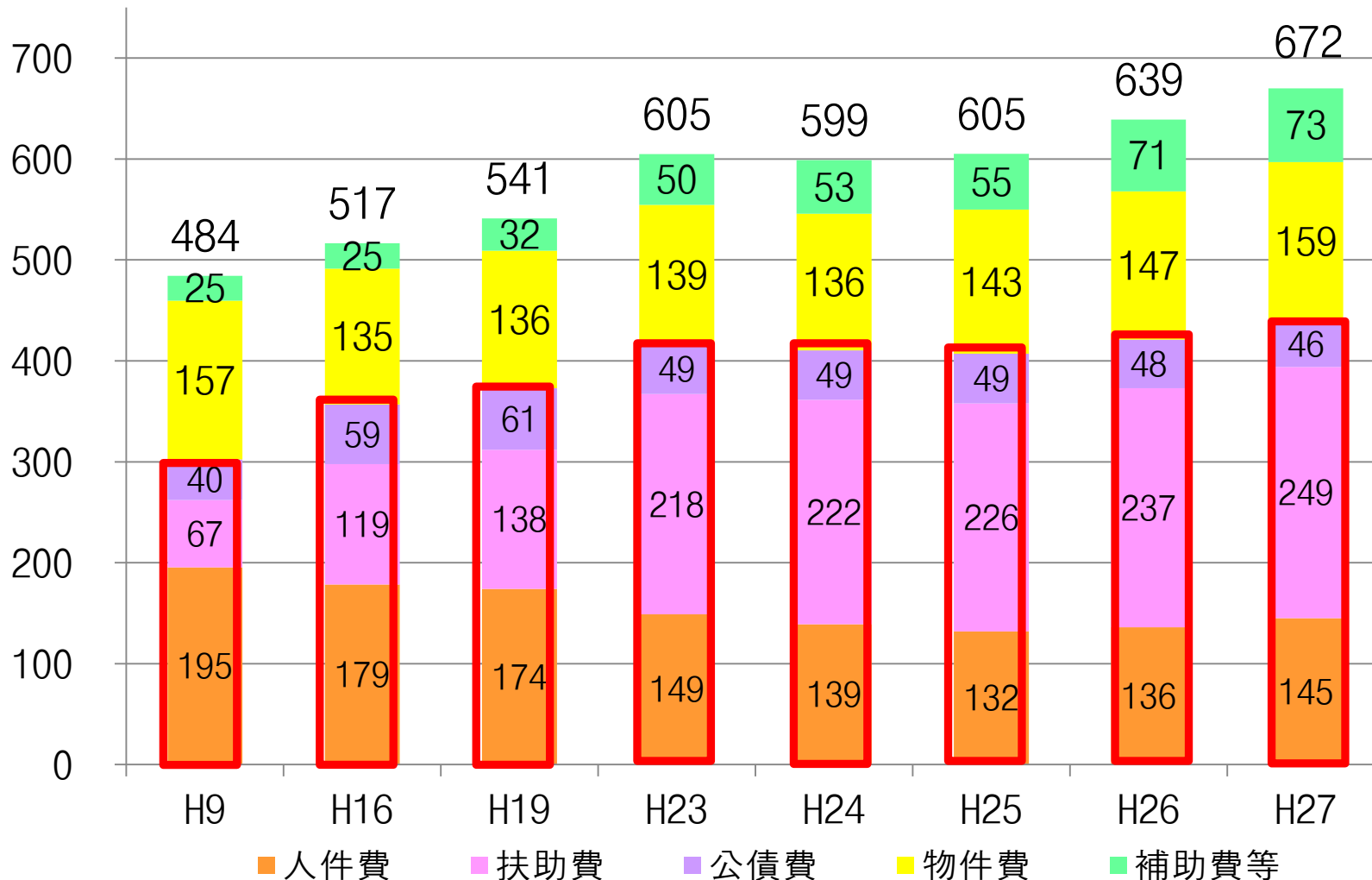


※H27は最終予算額

# 主要な経費の推移 (一般会計ベース決算)

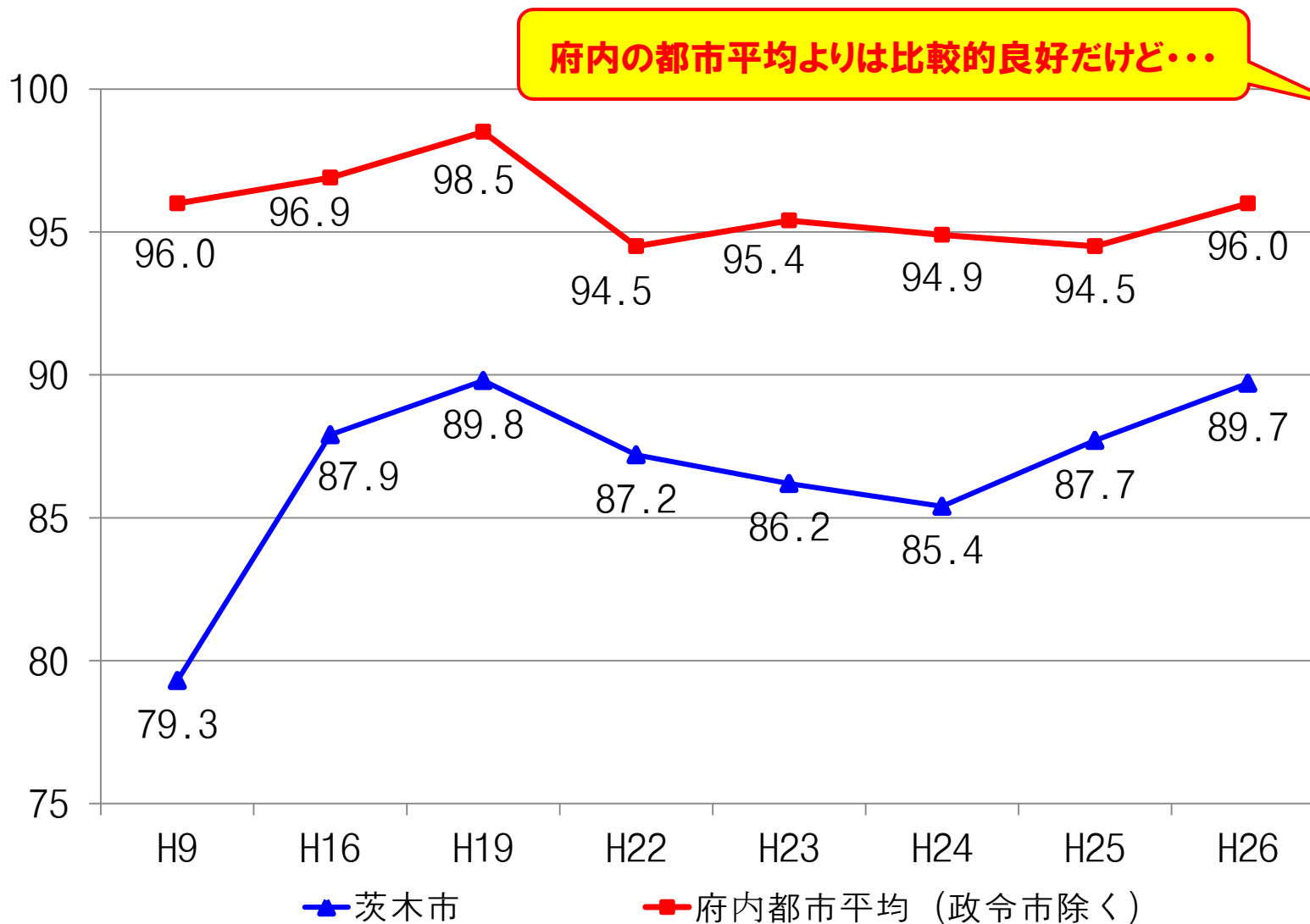
(単位：億円)

扶助費はH9年度の約4倍になってるねん！！



※H27は最終予算額、太枠は義務的経費  
 ※H16・H26の「公債費」は借換債を除く

# 経常収支比率の推移

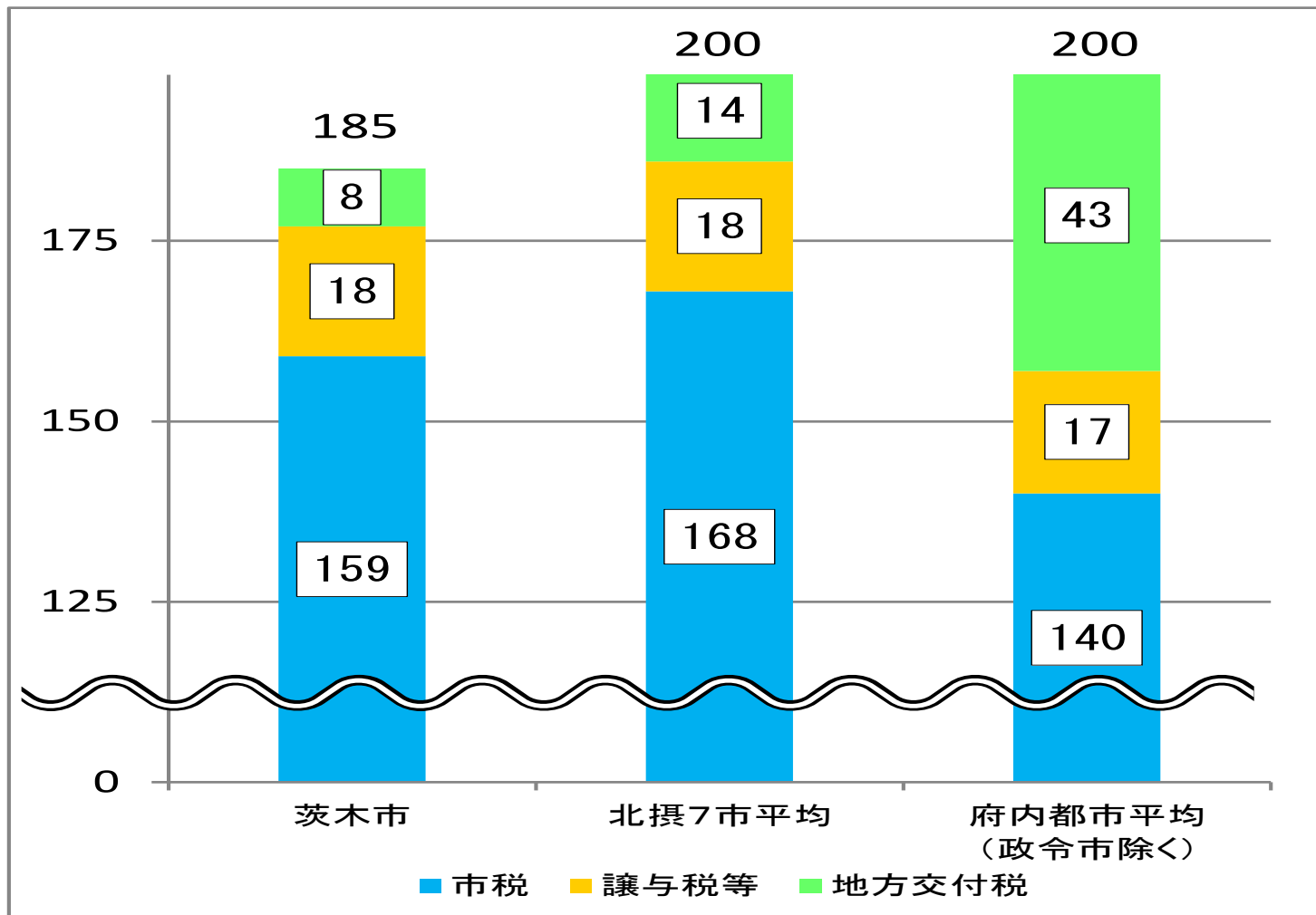


# 税等一般財源比較 (市民1人あたり)

府内では決して多くはないのだ



(単位：千円)

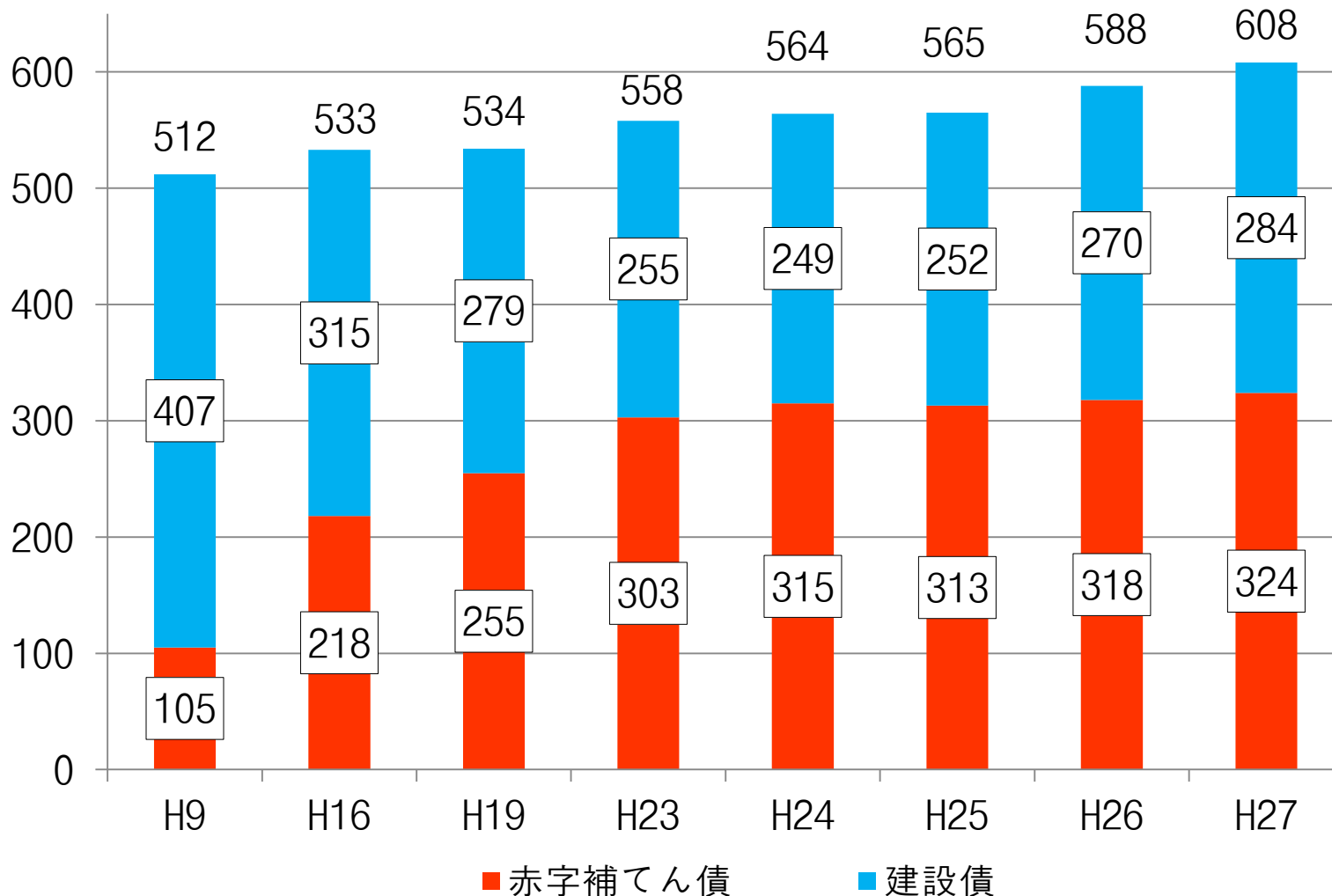


※平成26年度決算ベース (臨時財政対策債除く)

# 市債残高の推移

(単位：億円)

市債残高はここ数年増え続けているんだ...



※H27は最終予算ベース

---

# 2 財政計画

今後の財政見通しと健全な財政運営に向けた  
取組みの実践



# 財政収支見通し

## 【取組前】

現行制度による人口推計等を基本とした一般会計の見通し

(単位:億円)

A 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
①歳入 (1) 市税 (2) 譲与税・交付金 (3) 地方交付税 (4) 市債(臨時財政対策債) (5) その他	経常事業にかかる国・府の補助金や諸収入など	799	807	807	812	814	814	814	819	818
	経常事業	444	452	449	456	463	459	465	471	465
		62	65	75	75	75	75	75	75	75
		18	16	19	16	13	18	16	12	18
		28	24	13	13	11	10	5	8	7
②歳出 (1) 人件費 (2) 社会福祉経費 (3) 公債費 (4) その他	生活保護などの扶助費や国保等特別会計への繰出金など	247	250	251	252	252	252	253	253	253
		762	771	778	779	780	780	780	783	777
		140	139	142	141	143	143	143	145	144
		337	343	345	346	350	353	354	356	358
物品購入などの物件費や団体等への補助金など		49	49	50	50	50	51	50	49	43
		236	240	241	242	237	233	233	233	232
A 収支 ①-②		37	36	29	33	34	34	34	36	41

30~40億円の黒字で推移！！

### A 【経常事業】

少子高齢化の進展等により、市税の伸びを社会福祉経費の伸びが上回る状況の中、臨財債の逡減に伴う公債費の減や一定の交付税の交付を見込むことにより、収支は30~40億円(黒字)で推移する。

(単位:億円)

A		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
中長期財政見通し										
経常事業	A 収支 ①-②	37	36	29	33	34	34	34	36	41

B		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業	③ハード事業	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	市債	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	一般財源	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	④ソフト事業	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	一般財源	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	⑤基金積立	6	6	6	6	6	6	6	6	4
	一般財源	6	6	6	6	6	6	6	4	4
	⑥主要プロジェクト事業	39	52	11	10	11	4	1	16	30
	市債	17	16	3	5	6	2	0	7	16
	一般財源	5	11	3	2	3	2	1	3	6
事業費 ③+④+⑤+⑥		73	86	45	44	45	38	35	48	62
市債		30	29	16	18	19	15	13	20	29
B 一般財源		21	27	19	18	19	18	17	17	20

多額の市債  
を活用！！

H28~29年度  
に集中！！

C		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
公共施設等の 老朽化対策費	⑦事業費	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	市債	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	C 一般財源	11	11	11	11	11	11	11	11	11

## B【政策事業】

平成28~29年度は、多額の財源が必要な（仮称）JR総持寺駅周辺整備、JR茨木駅構内の整備等の主要プロジェクトが集中するため、市債の活用が必要となる。

## C【公共施設等の老朽化対策】

公共施設等の老朽化対策費として、長寿命化を基本に財政負担を平準化した一定の財源を確保する。

(単位:億円)

D 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業により 経常化する経費	D <sub>1</sub> ソフト事業の新規・拡充経費	5	7	9	11	13	15	17	19	21
	D <sub>2</sub> 公債費	1	2	5	7	10	12	14	16	18
D 政策事業の経常化分 合計		6	9	14	18	23	27	31	35	39



**総収支が悪化**

E 総収支 A - B - C - D	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	▲ 1	▲ 11	▲ 15	▲ 14	▲ 19	▲ 22	▲ 25	▲ 27	▲ 29

何も取組まなければ赤字となりどんどん増えてくよ！！  
政策事業により経常化する経費が原因みたい・・・  
何か手立てを講じなきゃいけないね！！

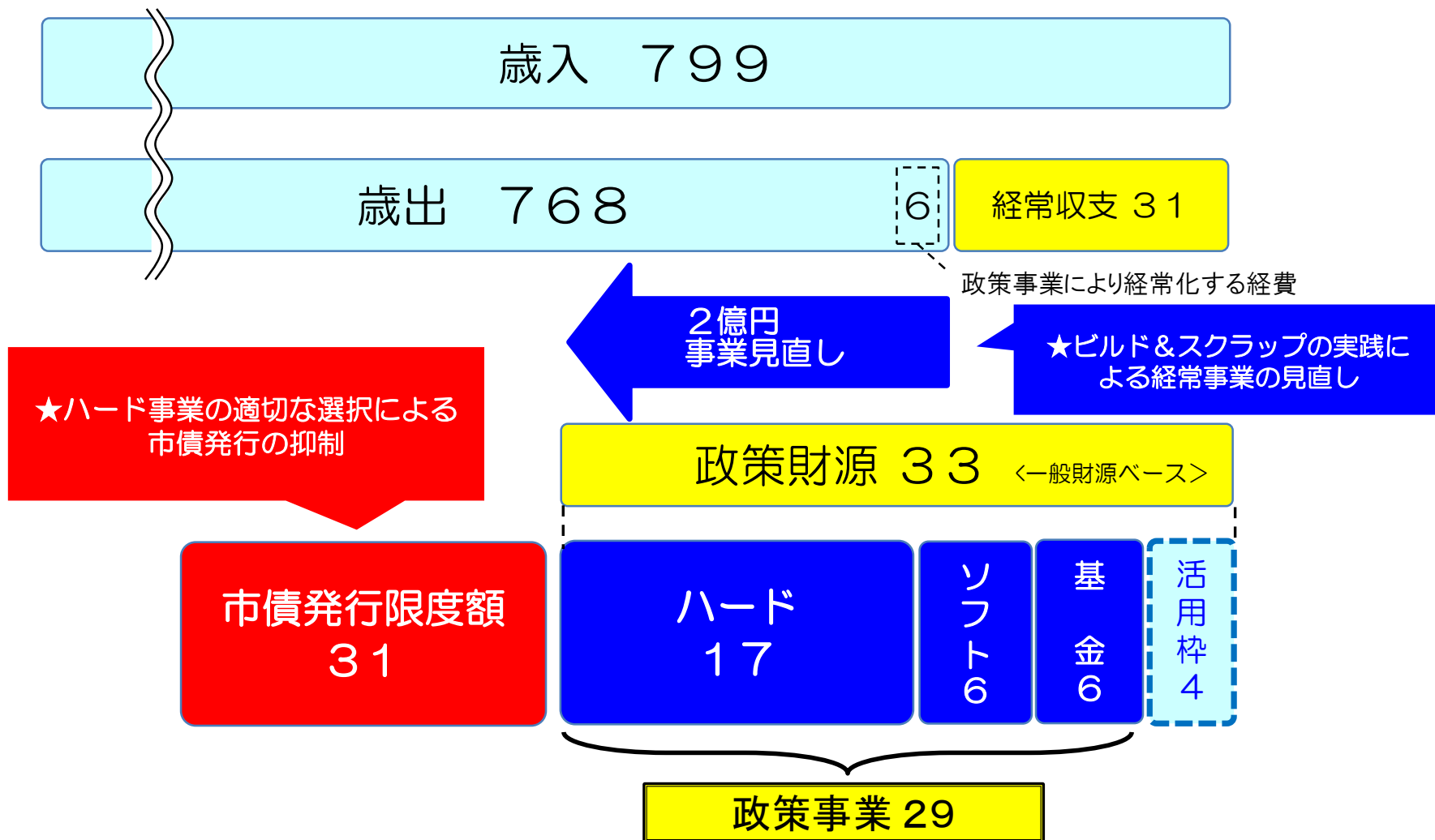


### D【政策事業により経常化する経費】

市民サービスの充実を図る経常化する政策事業や、主要プロジェクトの実施等により発行する市債の償還費が積み重なり、後年度に負担が重くのしかかる。

# 当初予算編成における財源フレーム

[単位：億円]



# 財政収支見通し (H28.3月時点)

## ① 経常収支

(単位: 億円)

A 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
経常事業	①歳入	804	817	816	821	825	824	823	828	827
	(1) 市税	445	452	448	455	462	457	462	467	462
	(2) 譲与税・交付金	70	75	80	80	80	80	80	80	80
	(3) 地方交付税	16	12	14	14	11	16	15	13	17
	(4) 市債(臨時財政対策債)	23	18	14	11	9	9	4	6	6
	②歳出	763	780	780	781	784	783	784	787	781
	(1) 人件費	145	140	142	142	143	143	144	146	144
	(2) 社会福祉経費 ※	342	347	349	351	353	355	357	359	361
(3) 公債費	49	47	45	45	46	46	45	44	38	
A 経常収支 ①-②		41	37	36	40	41	41	39	41	46

※ 扶助費+繰出金(国保・後期・介護)+後期高齢者療養給付費負担金

当初予算は編成できたけど、将来的にはまた収支不足に陥る厳しい見込なんだ…。



## ② 政策事業

(単位: 億円)

B 政策事業		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業	③ハード事業	23	20	20	20	20	20	20	20	20
	一般財源	8	4	4	4	4	4	4	4	4
	④ソフト事業	22	8	8	8	8	8	8	8	8
	一般財源	4	6	6	6	6	6	6	6	6
	⑤基金積立	6	6	6	6	6	6	6	4	4
	一般財源	6	6	6	6	6	6	6	4	4
	⑥主要プロジェクト事業	28	60	16	12	10	7	1	16	30
	一般財源	3	6	2	2	3	2	1	3	6
	事業費	79	94	50	46	44	41	35	48	62
	B 一般財源	21	22	18	18	19	18	17	17	20

ハード事業、ソフト事業、基金積立、主要プロジェクト事業に関する事業費を見込む。

(単位: 億円)

C 公共施設等の老朽化対策費		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
事業費		18	20	20	20	20	20	20	20	20
C 一般財源		10	11	11	11	11	11	11	11	11

(単位: 億円)

D 政策事業により経常化する経費		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
D <sub>1</sub> ソフト事業の新規・拡充経費		0	2	4	6	8	10	12	14	16
D <sub>2</sub> 公債費		0	1	2	4	6	9	11	13	15
D 政策事業の経常化分 合計		0	3	6	10	14	19	23	27	31

D<sub>1</sub> 市民サービスの充実を図るために実施するソフト事業の新規・拡充経費が、平成29年度以降2億円ずつ累積していく。

D<sub>2</sub> ハード事業、公共施設等の老朽化対策費の財源として発行する市債の償還費が、翌年度以降に経常化していく。

## 最終収支

(単位: 億円)

E 最終収支 A - B - C - D		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
E 最終収支	A - B - C - D	10	1	1	1	▲3	▲7	▲12	▲14	▲16

---

# 3 平成28年度6月補正 予算編成の内容

総合計画を基軸とした市長のマニフェストを  
実現！！

# 予算編成の基本的な考え方

平成28年度6月補正予算の対象となる事業は・・・

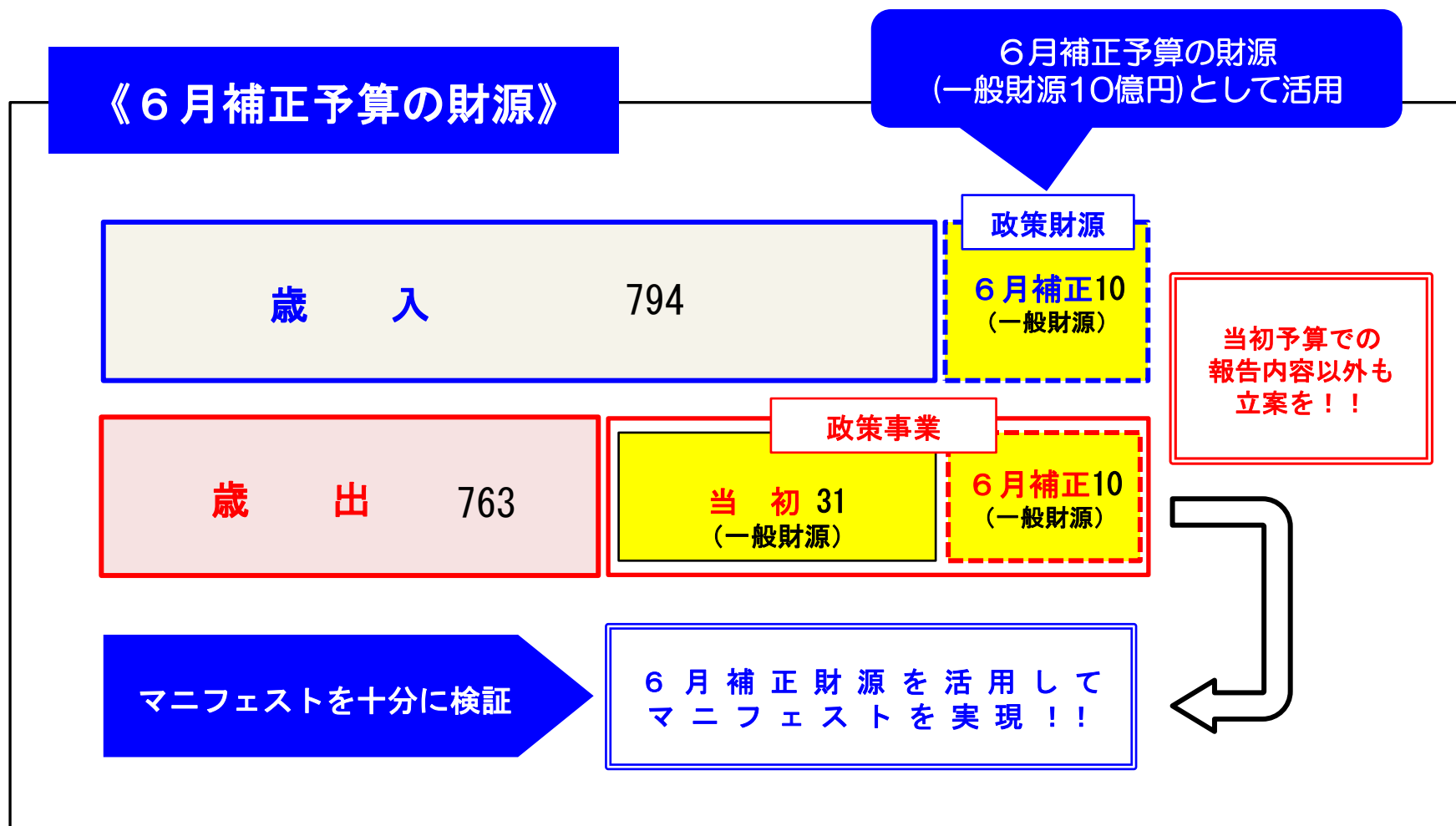
## 6月補正予算の対象事業

- ・ 市長の政策6本柱（マニフェスト）を実現する事業
- ・ マニフェスト以外の直面する行政課題等に対応する事業
- ・ 「地方創生推進交付金」活用事業

経常的な事務事業の不足を補う経費は対象外だよ！



# 6月補正(肉付け)予算の財源見込





## 第5次茨木市総合計画

### 【まちの将来像とまちづくりを支える基盤】

- 1 ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
- 2 次代の社会を担う子どもたちを育むまち
- 3 みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち
- 4 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち
- 5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち
- 6 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
- 7 まちづくりを進めるための基盤

### 確かな未来を実現するための「政策6本柱」

みんながいきる	人と自然が共生する持続可能なまちに〔まちづくり〕
らしさをいかす	次代の茨木を担う人を育むまちに〔教育〕
いのちを守る	ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに〔福祉〕
活気あふれる	都市活力があふれる心豊かで快適なまちに〔経済〕
いざ、に備える	ともに備え命と暮らしを守るまちに〔安全〕
議論を重んじる	対話重視で公平公正な市政運営〔対話〕

- (1) 昼も夜もにぎわい、憩える中心市街地と駅前の再整備
- (2) 市民に愛され、使われる新しい芸術文化施設の建設
- (3) 渋滞ゼロをめざしたまちづくり
- (4) めざせ！待機児童ゼロ
- (5) ひとりも見捨てない全国トップレベルの教育
- (6) 大学や企業と連携したスポーツ・生涯学習の推進
- (7) 安心できる地域医療・救急医療体制の充実
- (8) 生涯現役へ向けた介護予防
- (9) ライフステージに合わせた障がい者施策の推進
- (10) 新しい価値を創造する起業支援
- (11) 市内企業と世界をつなぐ
- (12) 歴史・文化のまち魅力の発信
- (13) 田畑、里山の再活性化
- (14) 地域を守る自主防災組織の支援体制充実
- (15) 災害時も役立つ公園づくり
- (16) 防犯体制の充実
- (17) 職員と市民のタウンミーティング実施
- (18) 政策決定プロセスの見える化
- (19) 若い世代の知恵がいきるまちづくり

総合計画を支える  
マニフェストの  
一覧だよ！



いばらきの今と未来をまもるため



いばら騎士 社!